

1 深まる秋

令和6年度「蒼穹祭」、過去最多の昨年度を超える約4千人の来場者をお迎えして、盛大に科学技術高校らしい文化祭となりました。御来場くださいましたご家族、PTA、同窓会、他校生、地域の皆様、中学生や保護者の皆様に、本校生徒たちの生き生きとした姿をご覧いただき、感謝申し上げます。



さて、暑い日が続き「このまま夏が終わらないのでは」とさえ思いましたが、急に秋が深まってきました。春夏と積み上げてきた努力の成果があらわれてくる頃です。いきなり大きなことを成し遂げようと意気込まずとも、まずはすぐ実行できる小さなことから始めて、コツコツと積み上げていきましょう。何度も繰り返しますが、まさに『微差は、大差』です。

2 「勉強がいやになったら読みたい 心にグッとくる勉強名言集」から

「教育とは、学校で習ったことをすべて忘れたあとに残っているものである。」

アインシュタイン

学校で習ったことが、オトナになってすべて役立つわけではありません。覚えさせられた知識は忘れてしまうこともあります。勉強を通して考え、感動した経験はいくつになっても残っているものです。学校は、そういった経験を積み重ねて、あなた自身を成長させる場なのかもしれませんね。

「われ以外みな師なり。」

吉川 英治

この言葉は、自分以外の人はずべて先生であるという意味です。学校の先生はもちろん、親からも友だちからも、すべての人から、なにかしら学ぶことができるという意味です。

世の中には、いろいろな人がいて、あなたにはない考えや知識をもっています。相手がどんなつまらなそうな人に思えても、あなたより素敵なところを見つけ、相手に教えてもらいたいと思う、素直な気持ちが必要です。

「知は愛、愛は知である。」

西田 幾多郎

あることについて知ると、それを好きになり、好きになると、もっともっと知りたくなるという意味です。「知ること」と「好き」は強くつながっています。

それは、なにかについての知識だけのことではありません。人と人との関係も同じです。友だちのことを知れば知るほど好きになったり、好きになった友だちのことはもっと知りたいと思ったりするものです。

そうやって人間について「学ぶ」ことも、人間が生きていくための大事な勉強かもしれませんね。

「懐疑は発明の父である。」

ガリレオ・ガリレイ

誰かに「そんなの常識だよ。」と言われたら、あなたはそれを信じてしまいますか？じつは常識というものはあいまいなもので、つねに変化するものです。今の常識が、未来の常識かどうかはわかりません。勉強していく中で、もし「これって本当かな？」と思うようなことがあれば、どんどん疑って考えてみましょう。常識をくつがえす、おもしろい発見に出会えることも、勉強の楽しみのひとつです。

(WILL こども知育研究所編著『いろんな人に聞いてみた「なんで勉強しなきゃいけないの？」』から)

「『可能性の扉を開く鍵』がきっと見つかる」 ☆科学技術高校☆